

自立活動 指導力アッププログラム

支援の質を高め、 自立活動の指導につながる学びがここに

児童や生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出すために、教育の現場で役立つ知識と技術を磨きませんか？心身健康科学プログラムでは、人間の「こころ」と「からだ」のしくみや関連性を基礎から深く理解し、実践的な指導に結びつく学びを提供します。オンラインで、自分のペースで、自立活動の指導に直結する知識・技術を学修できます。



「心身の健康を支える基礎知識」

心と体の相関についての基本的な理論とそれに基づいた実践方法を学びます。特別支援教育における具体的な応用例も紹介します。



自立活動の指導に 直結する授業

「現場で活かせる指導技術」

児童・生徒に最適な指導技術を学びます。日常の教育現場で即実践できる技術を修得できます。



「自立活動の授業デザイン」

学修した知識と技術を個々の児童・生徒の特性に応じて授業に導入するコツを学ぶことができます。



自立活動指導力アッププログラム

個々の児童または生徒が自立を目指し、障がいによる学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識・技能・態度および習慣を養い、心身の調和的発達のための指導領域を学ぶためのプログラムです。プログラムを修了すると、スキルの習得を証明するデジタル認証 (Digital Credentials) 「オープンバッジ」が授与されます。

※オープンバッジは欧米を中心に多くの大学や資格認定団体、グローバルIT企業が発行しており、ブロックチェーン技術により偽造・改ざんが不可能な信頼性の高い証明書です。オープンバッジは電子履歴書、電子メールや電子名刺に記載できます。また、SNSで共有することも可能です。



科目紹介

特別支援教育に従事されている方を対象とした専門科目

スクーリングを通じて、自立活動支援の実技を体験します。同じように自立指導支援に関わる参加者と悩みや課題を共有する交流の場にもなります。

心身の健康を支える基礎知識

心と体の相関についての基本的な理論とそれに基づいた実践方法を学び、特別支援教育における具体的な応用例も紹介する科目です。ZOOMをつかったオンライン形式の授業で、自宅のパソコンなどから視聴できるライブ授業形式で受講していただきます。

科目名

「教育と神経生理学」(オンラインスクーリング)

自立活動の授業デザイン

学修した知識と技術を個々の児童・生徒の特性に応じて、授業に導入するコツを学ぶことができます。これらの科目は、ZOOMをつかったオンライン形式の授業で、自宅のパソコンなどから視聴できるライブ授業形式で受講していただきます。

科目名

「障がいの事例に応じた授業プラン(肢体不自由・重度重複編)」
「障がいの事例に応じた授業プラン(知的障がい編)」

現場で活かせる指導技術

児童・生徒に最適な指導技術を学び、日常の教育現場で即実践できる技術を修得できます。これらの科目は、実践的なスキル修得をめざした科目となりますので、新宿にあるサテライトキャンパスで、土曜日、日曜日の週末に対面スクーリングの形式で開講されます。

科目名

「自立活動の指導の実際 入門編」 「自立活動の指導の実際 基礎編」
「自立活動の指導の実際 展開編」 「自立活動の指導の実際 生活編」
「知的障がいと自立活動の基礎」 「知的障がいと自立活動の応用」



心身の健康を支える知識を深める科目

特別支援の実際に必要な専門科目を理解し、実施するための心身の知識を培います。オンラインだけで学修を進めることができます。

生理学や解剖学などの医学・健康科学領域の科目

人間の基本的な生命活動の構造や働き、病気のしくみについて学修することができます。

科目名

「心身健康科学ーこころとからだの健康科学」 「運動のしくみ」
「ヒューマンー人間のこころとからだ」 「からだの構造とはたらき」
「内臓の調整のしくみ」 「アレルギーのしくみ」

心理学領域の科目

「こころ」のしくみや発達、病気について深く理解することができます。

科目名

「脳とこころの関係」 「こころの科学」 「人間行動の仕組みとこころ」
「ストレスと健康」 「手当の科学」 「チームワーク論」
「いのちの倫理」 「人間の発達とこころ」 「カウンセリングのすすめ」
「コミュニケーションのコツ」

履修モデル

4年次編入学～スピード学修プラン

3年次編入学～じっくり学修プラン

詳細はこちらから



4年次 (33単位)	前期	人間総合科学大学でのマナビ(N) ヒューマンー未来社会の幸福(T) 知的障がいと自立活動の基礎(S) 運動のしくみ(T) 総合演習Ⅰ	ヒューマンー人間のこころとからだ(N) 自立活動の指導の実際 入門編(S) 教育と神経生理学(S) ヒューマンー環境・社会といのちのつながり(N)	ヒューマンーいのちと健康の関係(N) 自立活動の指導の実際 基礎編(S) からだの構造とはたらき(T)(N)
	後期	心身健康科学ーこころとからだの健康科学(N)(T) 自立活動の指導の実際 展開編(S) 脳とこころの関係(N) 障がいの事例に応じた授業プラン(知的障がい編)(S)	心身健康科学ーいのちの運用論(T) 知的障がいと自立活動の応用(S) 障がいの事例に応じた授業プラン(肢体不自由・重度重複編)(S) 総合演習Ⅱ	

教員紹介



西郷 建彦

博士（心身健康科学）

横浜市立中村特別支援学校ほか 教諭歴38年

専門領域：特別支援教育（自立活動／肢体不自由・重度重複障害）

現場で活躍する多くの先生方に、心身健康科学を学んでいただきたいと思います。このプログラムを受講すれば、児童や生徒一人ひとりのニーズを深く理解し、具体的な支援策を考えることができます。自立活動の授業運営にも自信を持って取り組むことができるでしょう。



川端 陽子

修士（心身健康科学）

埼玉県越谷特別支援学校ほか 教諭歴39年

専門領域：担任・自立活動・肢体不自由・知的障害・など担当

心身健康科学の知識は、児童や生徒に向き合い、目標や指導計画を立てることに大いにプラスになる学びです。特に、最新のこころとからだの仕組みや機能に関する知見をオンラインで学べることは、時間や場所にとらわれず、自分のペースで学習を進められる大きな魅力です。忙しい先生方にとって、基礎から応用までをカバーするこのプログラムは非常におすすめです！

受講者の声

「自立活動の指導の実際 基礎編」の授業に参加して

岐阜県 特別支援学校 参加者様より

講義内容はさることながら、教員としての情熱に再び火をつけていただいたこと、本当に感謝しています。「子どもを変えるのではなく、子どもが変わる。そのためには待たなくちゃいけない。それが人格陶冶つまり教育だ」「信じてほしいのは子どもの変化」「お母さんが言っている子供の小さな成長ってすごいことなんだ。それを感じ取れる先生でなきゃいけない。」「いきあたりばったりの指導をしてないか。仮説をもって指導するから、失敗も成功もできて前に進める」西郷先生が講義でおっしゃった言葉です。特別支援学校に勤務して16年目になりますが、学術的な裏付けをもってここまで言える人に現場では出会えませんでした。講義を通して、知識のないまま子供と向き合っていた過去の自分への後悔と、教えていただいた知識や技術をもって子供に向き合える自信を同時に与えていただきました。

ウェルネススクールにて「自立活動の指導の実際 入門編」を体験しました

愛知県 特別支援学校 参加者様より

文科省が示す自立活動指導要領には、支援対象となる児童生徒のアセスメントを多角的に行うことの大切さが繰り返されますが、アセスメントバッテリーの例は示されていません。また、教師集団で自立活動の支援を進めるために、児童生徒の自立活動の課題について、共通理解をはかる大切さも強調されています。

一方で、教員は学校の研修で教科指導について学ぶことはあっても、教育心理学や解剖生理学について学ぶ機会は極端に少ないと実感しています。児童生徒の自立活動の課題について共通理解をはかるための教員間での「共通言語」が不足している感覚があります。西郷先生の授業を受けて、そんな現状でも、教育心理学や解剖生理学の知識をもとに、教員間で児童生徒の共通理解をはかると言う、指導支援の道筋が見えました。困難があっても、この道を歩き続ける事が私の目標であり、子どもも大人も笑顔になれる支援の在り方を実現することが私の夢でもあります。

この度は、ご指導ありがとうございました。



「自立活動の指導の実際 入門編」会場スクーリングの様子



「知的障がいと自立活動の基礎」会場スクーリングの様子

受講者の声は
こちらから



3年次編入・4年次編入のご案内

■取得可能学位と対象者

取得可能学位	対象者
学士（人間科学）	教育領域の資格・免許を有する者 ・特別支援学校教諭免許 ・養護教諭免許 ・栄養教諭免許 ・幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭免許等

■修業年限

2年（3年次編入学）
1年（4年次編入学）

■単位認定

既修得単位 62単位を認定（3年次編入学）
既修得単位 93単位を認定（4年次編入学）

■入学選考

書類選考（入学志願動機書（小論文））
※出願については募集要項をご確認ください。



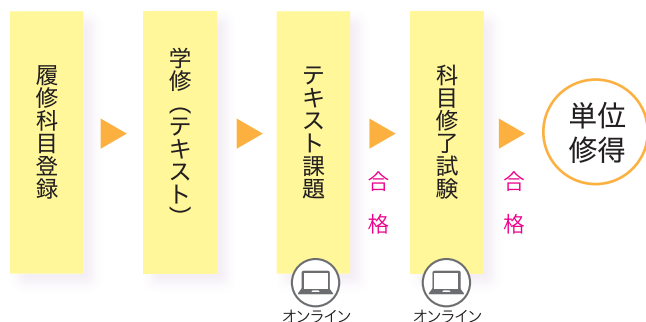
募集要項ダウンロード

■学修の進め方

テキスト履修とスクーリング履修の2つの学修方法があります。前期・後期のセメスター制です。
会場スクーリングでの実体験を通じての学びに加え、働きながらオンラインで学べる通信制ならではの仕組みとなっています。

テキスト履修（T）

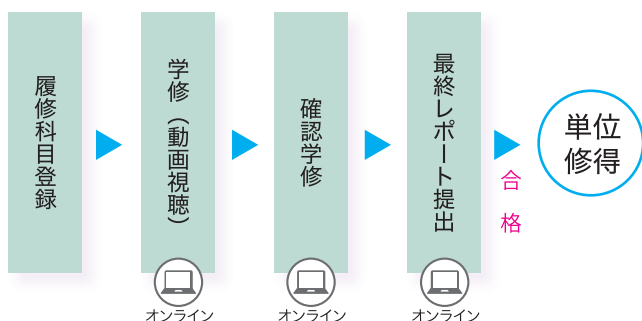
購入するテキスト（教科書）で学修を進めます。テキスト課題や科目修了試験は、オンラインでどこでも受けることができます。



スクーリング履修

インターネット授業（N）

動画視聴と最終レポート提出で学修を進めます。インターネットの環境があればどこでも学修を進めることができます。



会場スクーリング（S）

指定された日程・会場で、教員から直接指導を受けます。専門科目の多くはこの会場スクーリング科目となっており、同じ課題をもつ仲間との情報交換の場ともなります。



■学費

入学料	編入料	授業料（年額）	システム管理・維持費（年額）	合計（年額）
30,000円	100,000円	290,000円	30,000円	450,000円

※ その他、入学検定料（10,000円）とテキスト代が別途必要となります。



人間総合科学大学

人間科学部 心身健康科学科（通信教育課程）

アドミッションセンター（平日 9:00～17:00）

048-749-6111

■蓮田キャンパス 〒339-8539 埼玉県さいたま市岩槻区馬込 1288

■ホームページ：<https://www.human.ac.jp/> e-mail: admin@human.ac.jp

